

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[26]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[51]歳、勤続年数[26]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令]、同様の活動[1年に数度]、任務[複数隊の隊長]
○当事者C	年齢[30]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士]、同様の活動[1年に数度]、任務[その他：支援隊]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	BがAに	2階ベランダ部分の開口部からの放水を指示	
経過2	AとCが	三連梯子を搬送	
経過3	AとCが	三連梯子をベランダまで伸梯	
経過4	Cが	三連梯子を確保	
経過5	Aが	Bの指示により筒先を所持し登はんするが、濃煙のため開口部が確認できず排煙のため噴霧放水実施	
経過6	Bが	分岐管を開放	
経過7	Aが	窓ガラスに向け放水したところガラスの割れる音が生じてフラッシュオーバーが起き、とっさに身を屈めた	
経過8	Bが	Aに梯子を降りるよう指示	
経過9	Bが	Aに受傷がないことを確認し、少し休むよう指示	
経過10	Aが	再度消火活動に戻った	

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

足元の安全が確保できていた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

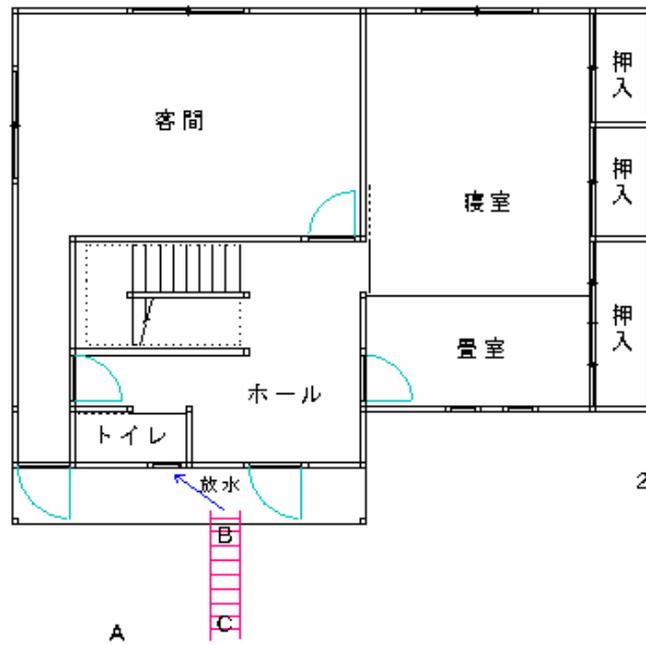
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ



道路幅 3.7m
